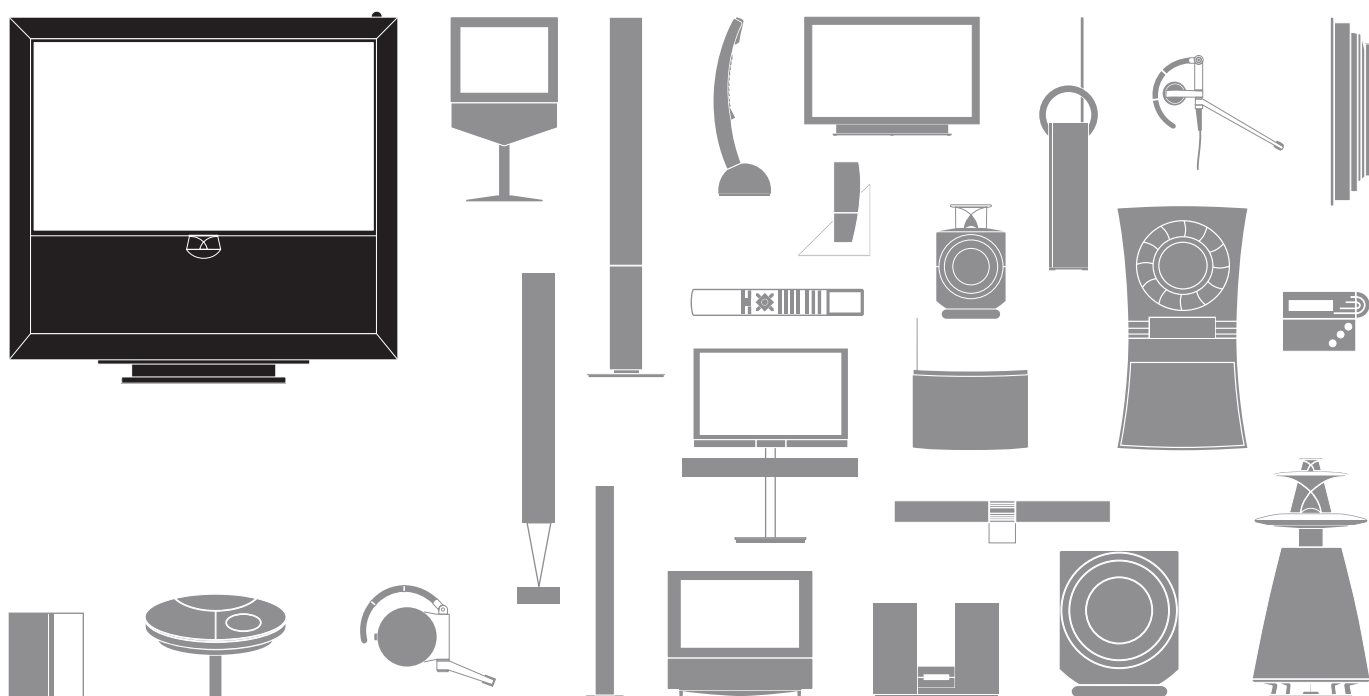
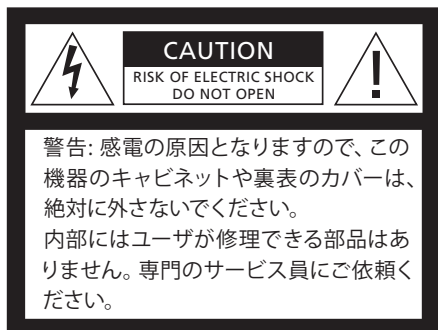


BeoVision 9

ガイド





警告: 火災や感電の原因となりますので、水がかかる場所や極端に湿度の高い場所で、この機器を使わないでください。また、花瓶など液体が入った容器は、この機器の上に置かないでください。この機器と電源を完全に切り離すためには、電源コードをコンセントから抜いてください。接続する時は、抜き差しがしやすい場所にあるコンセントを選んでください。



正三角形の中に稲妻が入った左のマークは、この製品の内部で、感電の危険をもつ“絶縁されていない高電圧”が発生する可能性を、使用者に警告しています。



正三角形の中に感嘆符が入った左のマークは、この製品の取扱説明書の中に、操作と保守(サービス)に関する重要な情報が含まれていることを示します。

警告

- この製品が、本ガイドに従って正しく設置され、接続されていることを確認してください。
- この製品は、頑丈な水平面に設置してください。スタンドや壁掛ブラケットは、Bang & Olufsenが承認した物のみを使ってください。
- この製品の上には、絶対に物を置かないでください。
- この製品は、雨のあたる場所や極端に湿度の高い場所、または熱源のそばに置かないでください。
- この製品は、通常の湿度をもつ室内で使うことを前提に設計されています。室温を摂氏10度から35度に保てる、海拔1500m以下の場所で使用してください。
- 直射日光のあたる所に、このテレビを置かないでください。リモコン信号受光部の感度が低下することがあります。
- この製品の周囲には、放熱のための十分な空間を確保してください。
- すべてのケーブルの接続を終えるまで、お使いのシステムに含まれる全製品を、電源から切り離しておいてください。
- この製品は、絶対に分解しないでください。そのような作業は、専門の技術者にお任せください。
- この製品を完全にオフにするには、電源ケーブルをコンセントから抜く必要があります。



お客様へ

このガイドでは、お買い求めいただいた Bang & Olufsen 製品の基本的な使い方と、外部機器の接続方法および操作方法を説明します。お買い求めいただいた製品の配達、設置、セットアップは、通常 Bang & Olufsen 販売店が担当いたします。

Bang & Olufsen のウェブサイト、www.bang-olufsen.com には、この製品に関するより詳しい情報と、よく聞かれる質問が掲載されています。

Bang & Olufsen は、お客様の声とニーズをていねいに検討しながら、より快適に使える製品を作るためデザインと設計を行なっています。お買い求めになった Bang & Olufsen 製品について、率直なご意見をお聞かせください。

ご連絡は、次のウェブサイトからお願いします…
www.bang-olufsen.com

郵送の場合は: Bang & Olufsen a/s
BeoCare
Peter Bangs Vej 15
DK-7600 Struer

ファックスの場合は:
Bang & Olufsen
BeoCare
+45 9785 3911 (fax)

目次

4	テレビを見る
7	BeoLink
17	発展させた使い方
31	設置 – セットアップ

リモコンの使い方

このテレビは、Beo5またはBeo4リモコンで操作することができます。このガイドでは、主にBeo5を使った操作について説明していきます。



Beo5による操作

- TV スクリーンに直接タッチするソフトボタン*1
ソースをオンにする、または機能を選ぶ
- 前のBeo5ディスプレイに戻っていく
- Zones や Speaker などの、SCENE ボタンを呼び出す
もう1度押すと前の画面に戻る
- + チャンネル等を選ぶための、数字ボタンを呼び出す
もう1度押すと前の画面に戻る
- STOP メニューを次々に戻っていく、または1回押して再生のポーズ、2回押して再生の停止を指示する
- PLAY 再生を始める
- BACK メニューをすべて終了させる
- 特定のカラーが振り分けられた機能を選ぶ*2
音量ホイール上の、そのカラーに隣接した部分を押し
- 回して音量を調節する
素早く左へ回すと、スピーカーからの音が消える
- GO センターボタンを押すと、設定が承認、保存される
- <◇◇> スクリーン上のメニューを各方向へ送っていく
- << >> 前方または後方へサーチする
録画
- <◇◇> チャンネルなどを送っていく
押し続けると連続して送られていく
- スタンバイ

Beo4による操作



- TV Beo4ディスプレイには、オンになっているソースや機能の名前が表示される
- TV テレビのスイッチを入れる*3
- V MEM 接続した映像レコーダーのスイッチを入れる
- 0-9 チャンネルを選ぶ、オンスクリーンメニューにデータを入力する
- MENU オンになっているソースのメインメニューを呼び出す
- << >> 前後にサーチする、またはメニュー内を移動していく
- GO 設定を承認して保存する、再生を開始する
- <◇◇> チャンネルを送っていく、またはメニュー内を移動していく
押し続けると連続して送られていく
- 特定のカラーが振り分けられた機能を選ぶ
- <◇◇> 音量を調節する
ボタン中央を押すと、スピーカーからの音が消える
- LIST Beo4ディスプレイに、追加しておいた'ボタン'を呼び出す
押しすごとに、別の'ボタン'が表示される
- STOP メニューを次々に戻っていく、または1回押して再生のポーズ、2回押して再生の停止を指示する
- EXIT メニューを終了させる
- スタンバイ

覚えておいてください

- 1* ボタンについて** ライトグレーのボタンは、ディスプレイ表示された文字に触れることで動作するソフトボタンを意味します。ダークグレーのボタンは、通常の押して使うボタンです。
- 2* カラーボタン** 音量ホイールの上の、そのカラーに隣接した部分を押しして選びます。
ゾーン名 設定した時に、各ゾーンにつけた名前が表示されます。
ソフトボタン スクリーン表示されるソフトボタンの内容は、オンになっているソースによって異なります。機能名に触れると、その機能がオンになります。

*3*のついたボタンは、初期設定時に内容を変えられます。35ページをご覧ください。

私の設定:

TV _____

DTV _____

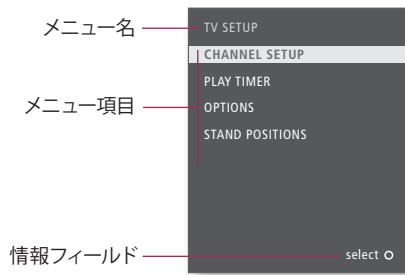
注意! リモコンの詳しい操作方法については、各リモコンに付属のガイドをご覧ください。

テレビや映画を見たり、接続されている端末機器などのサウンドを聴くための、共通した操作を説明します。

ディスプレイとメニュー

スクリーンの上には、選んだソースに関する情報が表示されます。設定は、オンスクリーンメニューから変更します。

...	TV	Menu
テレビのあるゾーンを選ぶ	テレビのスイッチオン	メニューを表示させる



メニューをナビゲートする

メニューがスクリーンに表示されている時は、メニュー項目間の移動、設定の表示、データの入力が行なえます。

<◇>	+	0-9	GO	項目を選ぶ	BACK
項目/設定を選ぶ	データを入力する	サブメニューを呼び出す/設定を保存する	項目を選ぶ	メニューを終了する*4	

重要 – より詳しい情報は: www.bang-olufsen.com をご覧ください

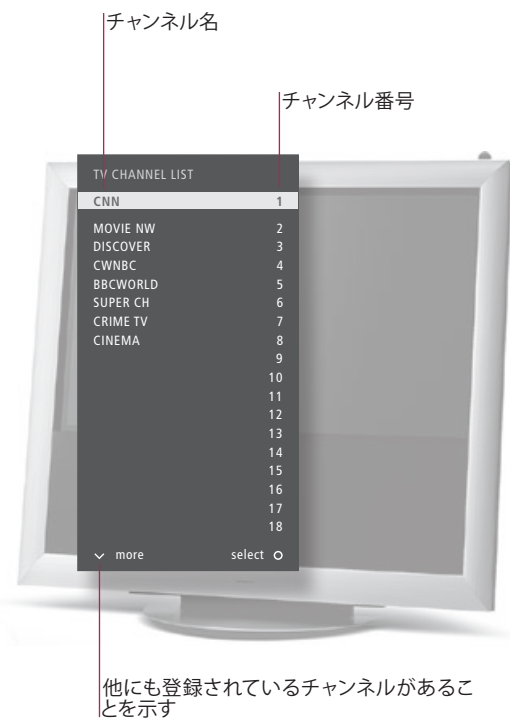
リモコン このガイドでは、主に Beo5 を使った操作を説明しますが、このテレビは、Beo4 リモコンでも操作できます。Beo4 と Beo5 のボタンの概要は、このガイドの折り込みページに示されています。リモコンの詳しい操作方法については、各リモコンに付属のガイドをご覧ください。

*4 注意! STOP を押すと、前のメニューに戻っていきます。

テレビを見る

番号ボタンでテレビチャンネルを選んだり、他のチャンネルまたはソースに切り替えます。音量調節、サウンドのタイプや言語の変更、テレビスタンドの回転を行ないます。

これらの機能を使うには、まずテレビのソースをオンにします



Beo5 による操作

テレビのスイッチオン

テレビのチャンネルを選ぶ

チャンネルリストを表示させる

音量を調節する

映像レコーダーに、ただちに録画を始める

接続した外部レコーダーへの録画中も、他の録画映像やソースの映像、テレビチャンネルが見られます。

テレビを回転させる

2つの映像を同時に見る

スクリーンを分割し、2つのソースからの映像を同時に見られます。

テレビのスイッチオフ

自動カラー測定が開始される場合もあります。

用語などの説明

Automatic Colour Management

Automatic Colour Management は、約 100 時間ごとに、スクリーン上のカラー表示の変化を自動補正する機能です。カラー測定中は、システムのスイッチを切ったり電源から抜かないでください。



Beo4による操作

TV	押す
◀ または +	選ぶ または 番号ボタンを呼び出す
0-9	チャンネルを選ぶ
Previous	1つ前のチャンネルを選ぶ
GO < > ◊ または +	押し続けチャンネルリストを呼び出す ページを切り替える チャンネルを選ぶ 承認する
0-9 GO	
◊	音量を調節する 素早く左へ回すと、スピーカーからの音が消える
◊	ホイールをどちらかへ回すと、再び音が出る
Record Record	録画を開始する
STOP STOP	録画を終了する
Stand ◀ Turn または Turn ▶ または Position 1...9	押す 押す テレビが回転する ポジションを選ぶ**
P-and-P DVD Swap	押す ソースを選ぶ 画面を切り替える
●	押す

TV	押す
◊ または 0-9	選ぶ または チャンネルを選ぶ
0	1つ前のチャンネルを選ぶ
GO ◀▶ または ◊ GO	押し続けてオンにする ページまたはチャンネルを選んで承認する
◊	音量を調節する ボタン中央を押すと、スピーカーからの音が消える
RECORD STOP	2度押すと録画が始まる 2度押すと録画を終了する
LIST ◀▶ または 1-9	STAND を選ぶ テレビが回転する ポジションを選ぶ**
LIST DVD 0	P-AND-P を選ぶ ソースを選ぶ 画面を切り替える
●	押す

2つめのソース 2つのソースからの映像を、同時に表示させることができます。Swap を押すと、左右の映像が入れ替わります。BACKを押すとこの機能が終了し、左側の映像だけが残ります。見たいソースを直接選ぶこともできます。HDMIソースに関する詳しい情報は、38ページをご覧ください。

** テレビのポジション
Position 1 が左端、Position 9 が右端の停止位置を示します。

注意! スタンド機能を使うには、まず、41ページで説明するスタンド位置の調整を行なう必要があります。テレビの停止ポジションを設定する方法については、44ページをご覧ください。



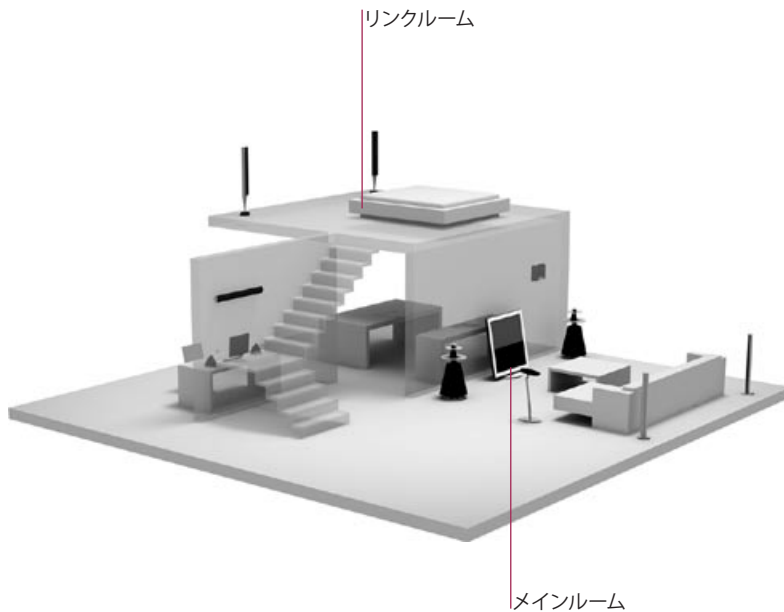
- 8 BeoLink システム
- 10 オーディオシステムの接続とセットアップ
- 12 BeoLink システムの接続とセットアップ
- 13 このテレビをリンクルームに置く
- 14 1つの部屋にテレビを2台置く



BeoLink システム

BeoLinkシステムは、メインの部屋とリンクした部屋に設置したすべてのソースを統合し、操作できるようにします。

メインまたはリンクルームのソースをオンにします



Beo5 による操作



テレビのサウンドをオーディオスピーカーで聴く

テレビ側ソースからのサウンドを、オーディオシステムのスピーカーで聴きます。

オーディオ側のサウンドをテレビのスピーカーで聴く

オーディオシステムからのサウンドを、テレビに接続したスピーカーで聴きます。

別の部屋にあるソースを使う

リンクルームから、メインルームまたは別のリンクルームにあるソースをオンにします。他の部屋に同じソースがないことを前提とします。

リンクルームのソースを使う

リンクルームから、別のリンクルームにあるソースをオンにします。両方の部屋に、同タイプのソースがあってもかまいません。

メインルームにあるソースを使う

リンクルームから、メインルームにあるソースをオンにします。両方の部屋に、同タイプのソースがあってもかまいません。

リンクルームでステレオサウンドを聴く

リンクルームでステレオ再生が選ばれている時は、メインルームの他のソースを、リンクルームで呼び出すことはできません。^{*1}

用語などの説明

- Options** システムをきちんと機能させるためには、各製品を正しいオプションに設定する必要があります。10ページをご覧ください。
- メインルームのソース** リンクルームのソースへ、サウンドと映像を送り出す中心となるソース機器を意味します。
- リンクルームのソース** リンクルームに置かれ、接続されたメインルームのソースからのサウンドと映像を、受け取るソース機器を意味します。
- オーディオシステム** このテレビと統合できるのは、Master Link に対応した Bang & Olufsen のオーディオシステムだけです。



Beo4による操作

...	TV	オーディオスピーカーのあるゾーンを選ぶ	映像ソースを選ぶ
...	CD	テレビスピーカーのあるゾーンを選ぶ	オーディオソースを選ぶ
RADIO		ソースを選ぶ	そのソースを通常通り操作する
TV		ソースを選ぶ	そのソースを通常通り操作する
Link	TV	押す	ソースを選ぶ そのソースを通常通り操作する
TV	AV	DTV	テレビをオンにする 押す メインルームのソースを選ぶ

LIST	TV	AVを選ぶ**	映像ソースを選ぶ
LIST	CD	AVを選ぶ**	オーディオソースを選ぶ
RADIO		ソースを選ぶ	そのソースを通常通り操作する
TV		ソースを選ぶ	そのソースを通常通り操作する
LIST	TV	LINKを選ぶ**	ソースを選ぶ そのソースを通常通り操作する
TV	LIST	DTV	テレビをオンにする AVを選ぶ** メインルームのソースを選ぶ

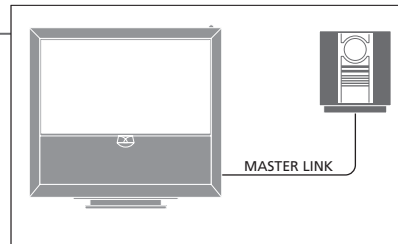
1* サウンド リンクルームのセットアップを変える 通常、端末機器などメインルームにある映像ソースからのサウンドは、モノラルでリンクルームに送られます。とはいえ、ステレオで聴くこともできます。リンクルームにあった製品を別の部屋へ移した時は、Beo5 リモコンの再設定を、Bang & Olufsen 販売店に依頼してください。

2* 注意! Beo4に AV と LINK を表示させるためには、これらの機能名を Beo4 のリストに追加しておく必要があります。詳しくは、Beo4 に付属するガイドをご覧ください。

オーディオシステムの接続とセットアップ

Master Linkケーブルを使って、このテレビに対応しているBang & Olufsenのオーディオシステムを接続すると、一体化されたオーディオ/ビジュアルシステムが完成します。

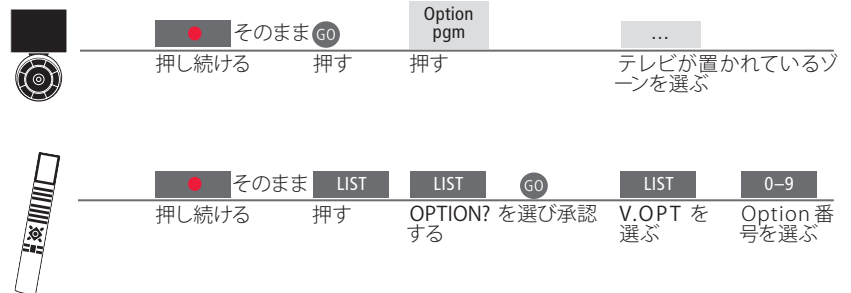
1. オーディオシステムを接続する



Master Linkケーブルを使い、テレビとオーディオシステム、それぞれの接続パネルにあるMASTER LINK端子を接続します。

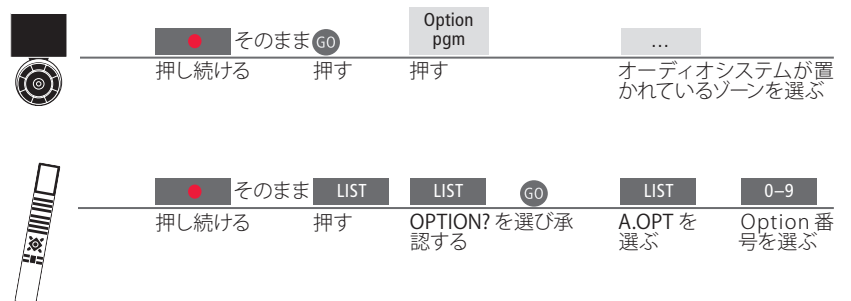
2. テレビにオプションを設定する

このテレビは、正しいオプションに設定することで、オーディオ/ビジュアルシステムに組み込まれます。まず、システム全体をスタンバイ状態にして、テレビの正面に座ってください。



3. オーディオシステムにオプションを設定する

オーディオシステムを、正しいオプションに設定します。まず、システム全体をスタンバイ状態にして、設定するオーディオシステムの正面に座ってください。



用語などの説明

テレビとオーディオのスピーカー

オーディオシステムで演奏しているCDを、テレビに接続したスピーカーで聴いたり、テレビ番組の音声を、オーディオシステム側のスピーカーで聴くことができます。

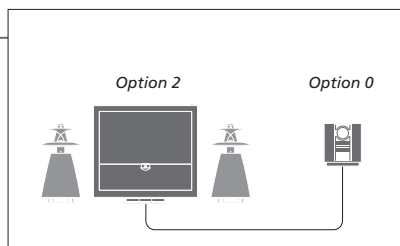
オプション設定

Beo4リモコンを使っている場合、メインルームのテレビはOption番号1、2または4に、リンクルームのテレビは5または6に設定します。オーディオシステム用のOption番号は、0、1、2、5、6のいずれかです。13ページをご覧ください。

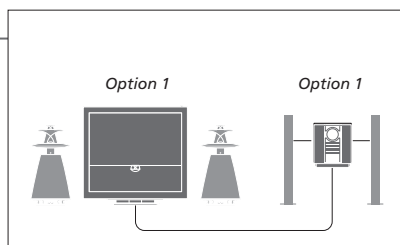
オーディオ/ビジュアルシステムは、1つの部屋にまとめて設置できますし、スピーカーが接続されたオーディオシステムとテレビを、別々の部屋に設置することもできます。

オプションを選ぶ

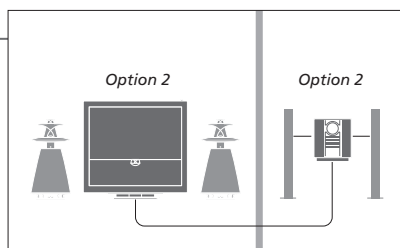
Beo5 リモコンで正しいオプションを設定するには、製品が置かれているゾーンを選ばなければなりません。10 ページをご覧ください。Beo4 リモコンで正しいオプション番号を設定する場合は、このページの各イラストを参照してください。



テレビとオーディオシステムが同じ部屋に置かれていて、全スピーカーがテレビに接続されています。この場合テレビは Option 2 に、オーディオシステムは Option 0 に設定します。



スピーカーが接続された(または接続されていない)テレビと、スピーカーが接続されたオーディオシステムが同じ部屋に置かれています。この場合テレビは Option 1 に、オーディオシステムも Option 1 に設定します。



スピーカーが接続されたオーディオシステムが1つの部屋に置かれ、スピーカーが接続された(または接続されていない)テレビが別の部屋に置かれています。この場合テレビは Option 2 に、オーディオシステムも Option 2 に設定します。

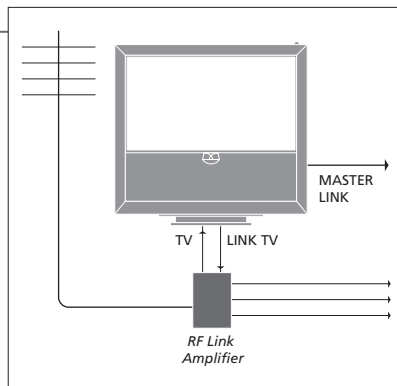
Options Option 4、5、6については、13-14ページをご覧ください。

注意! Bang & Olufsen 製オーディオシステムの中には、テレビとの一体化に対応していないものもあります。

BeoLinkを設置すると、リンクルームで映像とサウンドが楽しめるようになります。例えば、リビングルームのテレビを別のビジュアルシステムに接続したり、別の部屋に置いたスピーカーに接続することができます。

リンク接続の方法

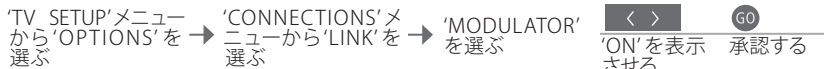
映像信号をリンクルームへ送るには、メインルームのテレビとリンクルームのテレビの両方に、RF Link アンプを接続する必要があります。*1



このテレビの MASTER LINK と記された端子に、Master Link ケーブルを接続します。映像信号もリンクルームへ送りたい場合は、メイン接続パネルにある LINK TV と書かれた端子に、通常のアナログケーブルを接続します。そこからさらに Master Link ケーブルでリンクルームと接続します。詳しくは、リンクルーム側に置く製品に付属している説明書を参照してください。

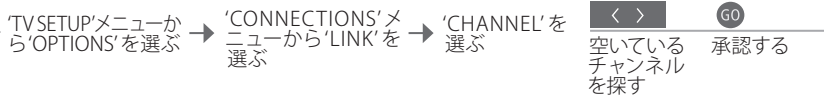
システムモジュレーターのスイッチを入れる

BeoLink Active/Passive 等によって、オーディオ用のセットアップが完了している部屋の中に、リンク対応していないテレビを設置する場合は、システムモジュレーターを 'ON' にしなければなりません。工場出荷時は 'AUTO' に設定されていますが、これは、リンク可能な Bang & Olufsen テレビを接続するためです。



リンク専用チャンネルを変える

工場出荷時、BeoLink システム専用のチャンネルは、66 番に設定されています。もしも、このテレビを使う地域でチャンネル 66 番に入ってしまう放送局があるなら、システムモジュレーターを使い、空いているチャンネル番号をリンク専用チャンネル用に設定し直す必要があります。*2



用語などの説明

- *1 機器の接続** このテレビの MASTER LINK 端子が、すでにオーディオシステムで使用されている場合に別の機器を追加接続するには、Master Link ケーブルを 2 本に分割したのち、特製ジャンクションボックスを使ってリンクルームからのケーブルとつなげます。詳しくは Bang & Olufsen 販売店にお尋ねください。
- *2 リンク専用チャンネル** メインルームのテレビでリンク専用チャンネルを変更したら、リンクルーム側テレビのリンク専用チャンネルも同じ番号になっているか、必ず確認してください。

注意! メインルームのテレビからリンクルームのシステムへ送れるのは、アナログ信号を送出しているソースだけです。

BeoLink システムを設置すると、リンクルームに置いたこのテレビから、接続された全システムを操作することができます。

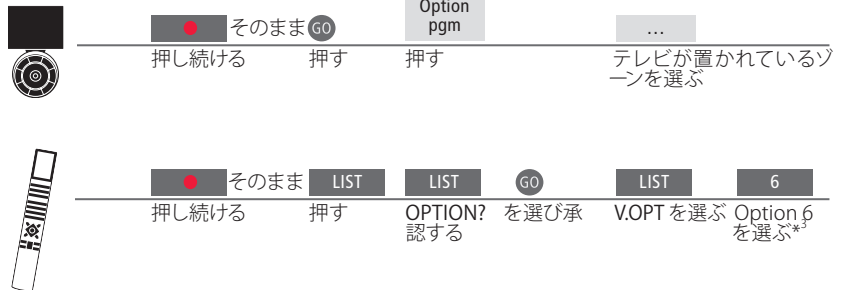
このテレビをリンクルームで使う

このテレビをリンクルームで使う場合は、右の手順を実行してください。

- 1 リンクルームで、このテレビを電源につなぐ。
- 2 リモコンを使い、リンクルームのこのテレビを正しいオプションに設定する。
- 3 リンクルームのこのテレビを、電源から抜く。
- 4 必要な接続をすべて終わらせる。
- 5 リンクルームのこのテレビを、再び電源につなぐ。

リンクルームのテレビのオプション設定

システム全体を正しく動作させるためには、メインルームのシステムと接続する前に、リンクルームのこのテレビを正しいオプションに設定する必要があります。リンクルームで、このテレビの正面に座ってください。



タイマープログラミング メインルームのテレビには、Play Timer がプログラムできます。

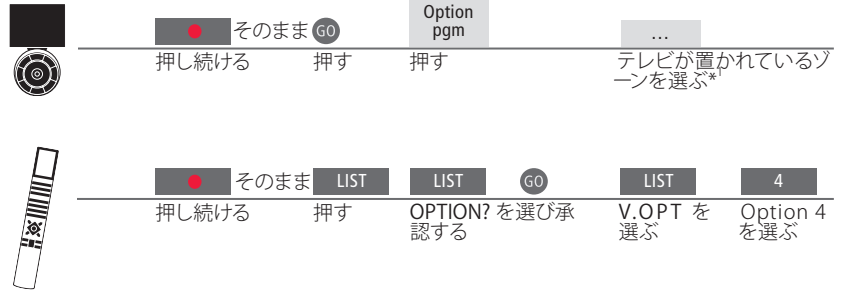
³*注意! スピーカー等の他のシステムが、すでに接続されているリンクルームにこのテレビを設置する場合、Beo4 を使ったオプション設定は Option 5 を選ばなければいけません。

1つの部屋にテレビを2台置く

同じ部屋に置いた2台のテレビを、1本のリモコンで操作する場合は、それぞれのテレビを正しいオプションに設定する必要があります。

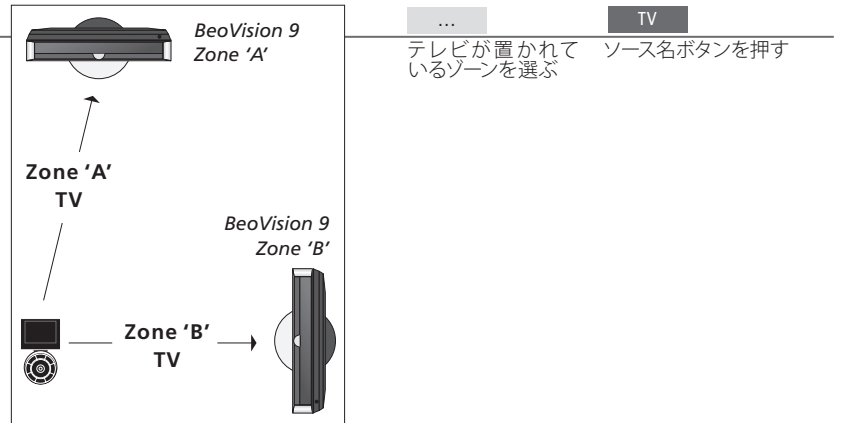
正しいオプションを設定する

すでに Bang & Olufsen のテレビが置いてある部屋に、このテレビを追加して置くと、両方のテレビがリモコンからの信号を受信してしまいます。両方のテレビが同時に反応するのを避けるためには、2台目のテレビのオプション設定を変える必要があります。2台目のテレビの正面に座ってください。



Beo5で2台のテレビを操作する

通常であれば、ソース名ボタンを押すだけで、そのソースがオンになります。とはいえ、1つの部屋にテレビが2台あって、1本のBeo5を使い操作する場合は、まず最初に各テレビが属しているゾーンを選ばなければいけません。

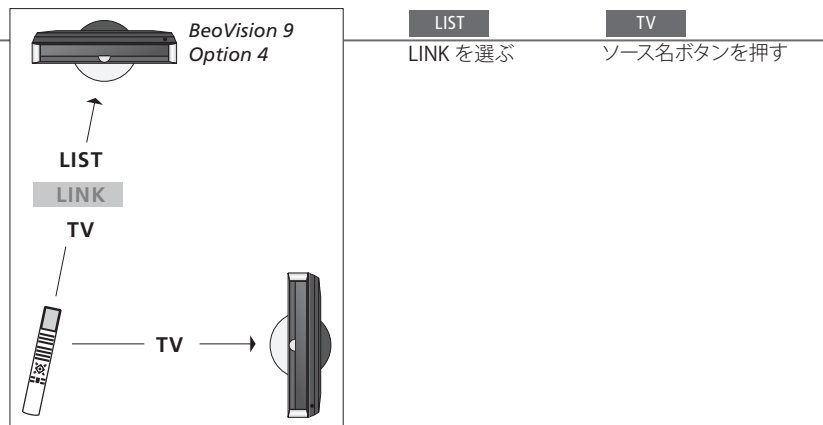


用語などの説明

Beo4のLINKボタン Beo4にLINKを表示させるためには、この機能名をBeo4のリストに追加しておく必要があります。詳しくは、Beo4に付属するガイドをご覧ください。

Beo4で Option 4 に設定したテレビを操作する

通常であれば、ソース名ボタンを押すだけで、そのソースがオンになります。とはいえ、Option 4 に設定したテレビを、Beo4 を使い操作する場合は、いずれかのソースを選ぶためには最初に LINK を指示しなければいけません。もしも、そのリモコンを 2 台目のテレビの操作専用にした場合は、Bang & Olufsen 販売店にご連絡ください。



* 注意! ソースの選択について、詳しくは Bang & Olufsen 販売店にお尋ねください。



- 18 サラウンドサウンドとホームシアター
- 19 サウンドのタイプを選ぶ
- 20 Wake-up Timer
- 21 Play Timer
- 22 テレビチャンネルの編集と追加
- 23 映像とサウンドの設定を調整する
- 24 スクリーンのカラー精度を測定する
- 25 暗証コードシステム
- 26 チューナーの設定
- 28 Beo5またはBeo4で、他の機器を操作する

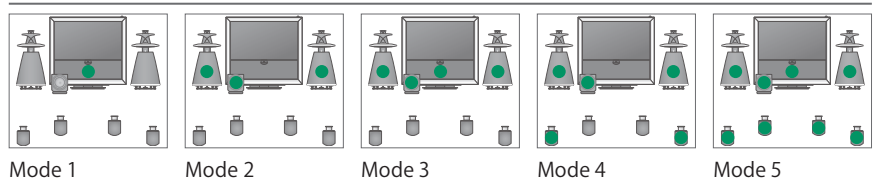
サラウンドサウンドとホームシアター

プロジェクターと Bang & Olufsen 製スピーカーを加えれば、このテレビを中心としたホームシアターで、サラウンドサウンドが楽しめます。また、映像フォーマットを選ぶことにより、カスタマイズされた映像を楽しむことができます。

映画のサウンドを再生するスピーカーを選ぶ

このテレビは、選んだソースに応じてサウンドを自動的に最適化しますが、あるソースの再生に使うスピーカーの組み合わせを、お客様が設定することもできます。

Beo5 ディスプレイに Scene を呼び出す*1 → Speaker ディスプレイを選ぶ → スピーカーの組み合わせを選ぶ*2



映像フォーマットを選ぶ

このテレビは、選ばれたソースの映像を自動的に最大化してスクリーンに映しますが、お客様が好みのフォーマットを指定することもできます。

Beo5 ディスプレイに Scene を呼び出す*1 → Picture ディスプレイを選ぶ → フォーマットを選ぶ*2 → 映像の上下位置を調整する



ホームシアターに切り替える

テレビのスクリーンから、接続したプロジェクターのスクリーンへ、映像を切り替えます。

Beo5 ディスプレイに Scene を呼び出す*1 → Cinema ディスプレイを選ぶ → Cinema を選ぶと、ホームシアターモードとTVモードが切り替わる

用語などの説明

***1 Scene メニュー** Beo4 では、FORMAT を表示させることで映像フォーマットの選択とホームシアターの切り替えが実行でき、SPEAKER を表示させることでスピーカーの組み合わせが選べます。

***2 Optimise と Variation** Beo5 で Optimise を押すと、スピーカーの組み合わせまたは映像フォーマットが自動で最適化されます。Beo4 は GO を押します。Beo5 で Variation を押すと、押すごとに Standard 内のフォーマットが切り替わります。Beo4 では ◀ または ▶ を使います。

モードの変更 Beo4 でTVモードとホームシアターを切り替えるには、LIST を繰り返し押し続けて FORMAT を表示させたあと、0 を押します。

注意! テレビに追加されているスピーカーがフロントの1組だけだと、Mode 1-3 しか選べません。またこのテレビには、最大2本までのBeoLabサブウーファーが追加できます。

テレビを見ながら、使用するサウンドのタイプを切り替えられます。

サウンドのタイプまたは言語を変える

サウンドのタイプ、または言語を切り替えます。

Sound

サウンドタイプを呼び出す

Sound

押して切り替えたのち選ぶ

サウンドのタイプまたは言語

テレビのチャンネルを受信する時に、お好きなサウンドタイプを一緒に保存できます。22ページをご覧ください。

Wake-up Timer

このテレビを、Wake-up Timerで自動的にオンにすることができます。Wake-up Timerは、指定した時刻に1回だけ実行され、開始から1時間が経過すると自動的に演奏を終了します。

Wake-up Timerをプログラムする

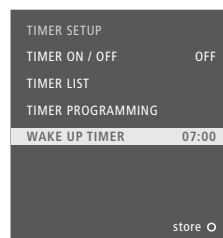
ソース、チャンネル番号、開始時刻を選びます。

'TV SETUP'メニューを呼び出す → 'PLAY TIMER'メニューを選ぶ → 'WAKE-UP TIMER'メニューを選ぶ → データを入力し承認する

Wake-up Timerをチェック、または削除する

Wake-up Timerの設定をチェックまたは削除します。

'TV SETUP'メニューを呼び出す → 'PLAY TIMER'メニューを選ぶ → 'WAKE-UP TIMER'メニューを選ぶ → 設定を変更し承認する



用語などの説明

Wake-up Timer Wake-up Timerでオンになるのは、そのプログラムを行なったテレビだけです。Wake-up Timerを確実に実行させるためには、内蔵クロックを正しい時刻に合わせておいてください。

注意! このテレビは、Wake-up Timerが実行されるかキャンセルされない限り、通常のPlay TimerまたはStandby Timerをプログラムできません。

メインルームのシステムで、Play TimerまたはStandby Timerをプログラムすることにより、このテレビを自動的にオン/オフできます。

タイマー演奏とタイマースタンバイ

毎週決まった曜日の決まった時刻に、このテレビを自動的にオン/オフさせます。

→ 'TV SETUP'メニューを呼び出し、'PLAY TIMER'メニューを選ぶ

→ 'PLAY TIMER PROGRAMMING'メニューを選ぶ

→ ソースを選ぶ

→ データを入力し承認する

'CONNECTIONS'メニューで登録したソース名が、ソースの名称として表示される

- TV
- DTV
- DTV2 (V.AUX)
- V.MEM
- DVD/DVD2
- V.AUX2
- CD
- N.MUSIC
- N.RADIO
- A.MEM
- RADIO
- STANDBY

Play Timer 機能をオンにする

このテレビを Play Timer で使用するには、タイマー機能を 'ON' に設定します。

→ 'TV SETUP'メニューを呼び出す

→ 'PLAY TIMER'メニューを選ぶ

→ 'TIMER ON/OFF'メニューを選ぶ

→ 'ON'を選び、承認する

タイマープログラムの編集または削除

プログラムした内容の確認、編集、削除が行なえます。

→ 'TV SETUP'メニューを呼び出す

→ 'PLAY TIMER'メニューから 'PLAY TIMER INDEX'を選ぶ

→ プログラムしたタイマーを選ぶ

→ 内容を編集する、または削除する

Play Timer Play Timerは、最大6個までプログラムできます。Timerを確実に実行させるためには、内蔵クロックを正しい時刻に合わせておいてください。44ページ参照。このテレビは、Wake-up Timerが実行されるかキャンセルされない限り、通常のPlay TimerまたはStandby Timerをプログラムできません。

安全対策 このテレビが、Play Timer機能によって自動的にオンとなっても、スタンドは回転しないように設計されています。

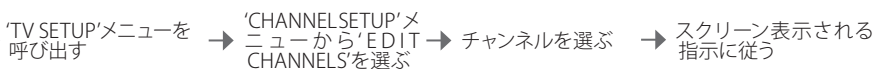
注意! リンクルームのシステムも、タイマーでスイッチをオン/オフできます。その場合、タイマープログラムは必ずメインルームのシステムで行ない、その後、リンクルームのシステムのタイマー機能をオンにしてください。

テレビチャンネルの編集と追加

テレビのチャンネルをお好きな順番で表示させたり、お好きな名前を付けることができます。不要なチャンネルの削除や、新しいチャンネルの追加もできます。最大99までのチャンネルを、お好きな番号でプリセットできます。

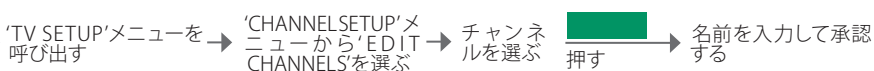
チャンネル表示の順番を変える

チャンネルを、お好きな番号の位置まで動かします。



チャンネルに名前を付ける

チャンネルに、わかりやすい名前を付けます。



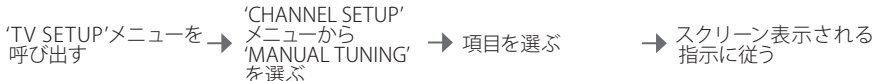
チャンネルを削除する

不要なチャンネルを削除します。



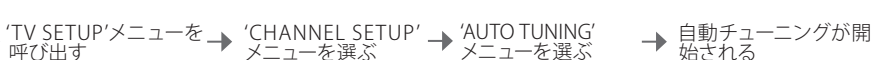
チャンネルのチューニングを微調整する

受信状態を改善したり、サウンドタイプを選んだりします。



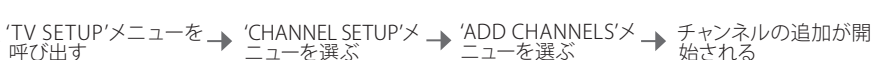
自動チューニングを使い再受信する

すべてのテレビチャンネルを、自動で再受信します。これを行なうと、それまでの全チャンネル設定が消去されます。



新しいチャンネルを追加する

放送局が放送周波数を変更した場合などに、変更された新しいチャンネルを追加することができます。'ADD CHANNELS'メニューでそのチャンネルを受信すれば、それまでプリセットしていたチャンネルの名称や表示順序などは、そのまま維持されます。



用語などの説明

'MANUAL TUNING' 'MANUAL TUNING'メニュー内の'EXTRA'メニューから、'CHANNEL'、'FINE'(微調整)、'SOUND'の各項目にアクセスできます。

映像とサウンドは、ほとんどの視聴条件に合うよう、工場出荷時にニュートラルに設定されています。もちろんこの設定は、お好みに応じて調整することができます。

映像の調整

輝度、カラー、コントラストを調整します。映像フォーマットについては18ページをご覧ください。'TINT'の調整結果は、今見ているチャンネルにだけ適用されます。



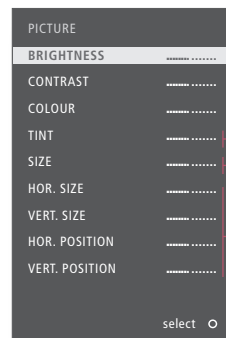
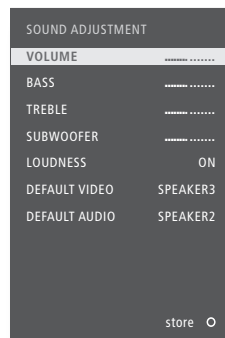
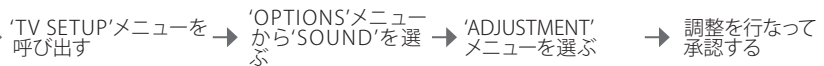
映像を一時的に消す

スクリーンから、映像を一時的に消します。



サウンドを調整する

デフォルトに設定したスピーカーの組み合わせ2種類に対して、音量、低音と高音のレベル、ラウドネスをプリセットします。2台までのBeoLabサブウーファーも、このプリセットの対象となります。'SOUND'メニューの内容は、このテレビに接続された機器によって異なります。スピーカーの組み合わせについては、18ページをご覧ください。



— NTSC信号のみ
— 1080p/i信号のみ
— VGA信号のみ

- 一時的な設定** 調整した映像とサウンドの設定を、テレビのスイッチを切ると同時に自動でキャンセルしたい場合は、設定を承認する時に **センター** ボタンを押すのではなく、**BACK** を押します。
- 'DEFAULT VIDEO'** テレビの映像ソースをオンにしたとき、自動的に選ばれるスピーカーの組み合わせです。サブメニュー 'DEFAULT VIDEO' で設定します。
- 'DEFAULT AUDIO'** テレビのオーディオソースをオンにしたとき、自動的に選ばれるスピーカーの組み合わせです。サブメニュー 'DEFAULT AUDIO' で設定します。

注意! ロゴやデジタル写真などの静止画、および4:3フォーマットの映像を、長時間スクリーンに表示させないでください。スクリーン上に、焼け付きとなって残ってしまう場合があります。

スクリーンのカラー精度を微調整する

Automatic Colour Management は、スクリーンを精密に測定することで、カラー再現力を完璧な状態に維持する技術です。テレビのフレーム上部からセンサー付きアームが下りてきて、スクリーンに表示されるテスト画像を測定していきます。

自動測定

約100時間の視聴ごとに、このテレビは、スタンバイボタンを押されることで自動的に測定を行います。→ 手動で測定を指示することもできますが、テレビに自動で測定させることを推奨します。

手動での測定

'AUTO COLOUR MANAGEMENT'メニューを使用可能とするには、TVモードにしたテレビを、2分以上オンしておく必要があります。→ 'TV SETUP'メニューを呼び出す → OPTIONSメニューを選ぶ → 'AUTO COLOUR MANAGEMENT'をオンにする → 測定が開始される*1

手動での測定が終わると

→ センサーアームが格納され、テレビは最後に見ていたソースへ戻る → スクリーン上に、'CALIBRATION COMPLETE'が短時間表示される

用語などの説明

- *1 手動測定** スクリーンからすべての文字が消え、センサーアームが下りてきて測定が始まります。
- 測定失敗** センサーアームが完全に下りきらないと、測定は実行されず、状況に応じたアームは格納されます。自動測定を行っていた場合は、たとえ失敗しても、次にスイッチを切られた時テレビが自動で測定を再実行します。

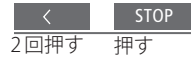
注意! 測定中は、絶対にシステムのスイッチを切ったり電源から抜いたりしないでください。

暗証コード機能は、暗証コードを知らない第三者に、お客様のテレビが使用されるのを防ぎます。暗証コード機能をオンにしているこのテレビが、15-30分のあいだ電源から切り離されると、暗証コードシステムが自動的に稼働します。

暗証コード機能をオンにする

まず、4ケタの暗証コードを入力します。

→ 'TV SETUP'メニューを呼び出す

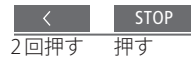


2回押す → 押す → 4ケタの暗証コードを入力して承認する → 同じコードを再入力して承認する

暗証コードを変更する

設定しておいた暗証コードを変更します。^{*2}

→ 'TV SETUP'メニューを呼び出す

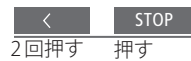


→ 今までの暗証コードを入力して承認したあと、'NEW PINCODE'を選ぶ → 新しいコードを入力して承認したあと、確認のため再入力して承認する

暗証コードを削除する

設定しておいた暗証コードを削除します。

→ 'TV SETUP'メニューを呼び出す



→ 今までの暗証コードを入力して承認する → 'DELETE PINCODE'を選んだあと、承認する

暗証コードを入力する

電源から切り離れたあと、このテレビのスイッチが入らない場合は、30秒待つてからもう一度スイッチを入れてみます。

→ 暗証コードを入力する → 承認する

もし暗証コードを忘れてしまったら

Bang & Olufsen 販売店に連絡し、5ケタのマスターコードを入手してください。

→ 暗証コードを要求されている時に押し続け、5ケタのフィールドを表示させる^{*3}

→ 5ケタのマスターコードを入力する → 承認する。今までの暗証コードが削除されるので、改めて暗証コード機能をオンにする

**** 暗証コードの変更** もしも、3時間以内に暗証コードを5回以上変更すると、以後の3時間、テレビが電源につながれている限り、'PINCODE'メニューは呼び出せなくなります。

誤った暗証コード もしも、誤った暗証コードを5回以上入力すると、以後の3時間、テレビの操作は一切できなくなります。電源を抜くと、その時点から新たに3時間がカウントされ始めます。

注意! もしも、購入して初めて電源に接続したテレビが、暗証コードの入力を要求するようであれば、Bang & Olufsen 販売店にご連絡ください。暗証コード入力中に、入力した文字を変更したい場合は、BACK を押して消去します。Beo4の場合は STOP を押してください。

^{*3} Beo4の場合は、◀◀ を押し続けると五ケタのフィールドが呼び出されます。

チューナーの設定

端末機器などからのソースを見る時は、テレビ側の内蔵チューナーをオフにすることができます。

内蔵チューナーをオフにする

テレビ内蔵チューナーをオフにすると、TV ボタンを押すことにより、接続されている周辺機器のスイッチが入ります。

→ 'TV SETUP'メニューを呼び出す → 'OPTIONS'メニューから'TUNER SETUP'を選ぶ → 'TV TUNER'のオン/オフを選び、承認する

用語などの説明

'CHANNEL SETUP'メニュー 'CHANNEL SETUP'メニューは、テレビ内蔵チューナーがオンの時だけ表示されます。46ページをご覧ください。



Beo5またはBeo4で、他の機器を操作する

内蔵されているPeripheral Unit Controllerは、このテレビに接続した他社製の端末機器や映像レコーダー、DVDプレーヤーなどを、Bang & Olufsenリモコンで操作できるようにします。


Beo5での操作

Bang & Olufsenのリモコンで、他社製機器の主な機能が操作できます。操作できない機能もあります。

→ ソースを選ぶ → 操作する機能を選ぶ



補助メニューを表示させる*1

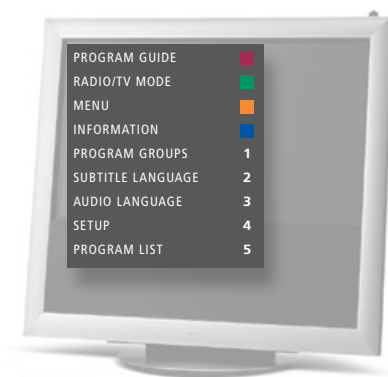
Beo4を使っている場合は、補助メニューを表示させることで、操作できる機能をすぐに見つけられます。

→ 接続されている機器を選ぶ → Menu または  補助メニューを呼び出す → 操作する機能を選ぶ

Beo4による直接操作

補助メニューを経由しない操作です。接続された機器は、すでにオンになっている必要があります。

→ 特定の機能に対応したカラーボタンを押す →   チャンネルを選ぶ → または  押し続けて Programme Guide を呼び出す



用語などの説明

***1 補助メニュー** 補助メニューには、選んだソース機器で操作できる機能が表示されます。テレビのスクリーンに補助メニューを呼び出せるのは、Beo4だけです。Beo5では、操作可能な機能がBeo5のディスプレイに表示されます。リンクルームで、補助メニューを呼び出すことはできません。その機能に対応するカラーボタンを押すか、番号に続けて GO を押してください。

注意! どのソースボタンで外部機器をオンにするかは、チューナーの設定と 'CONNECTIONS' メニューの設定によって決まります。26ページと35ページをご覧ください。

Bang & Olufsen 製ではない製品の機能に、Bang & Olufsen のリモコンでアクセスすることができます。

機器側のメニューを使う

リモコンを経由して、接続した機器のメニューを操作します。Beo4 では、1つ前のメニューへ戻るのに、STOP ではなく EXIT を押す必要があるかも知れません。

他社の機器のメニューを呼び出す



映像レコーダー/DVD プレーヤー

スイッチオン、再生開始と停止、前後へのサーチを行ないます。

その機器のスイッチをオンにする



現在の映像を録画する

スクリーン上の映像を、すぐその場で録画することができます。他のソースを選んだり、テレビをスタンバイにしても、録画は続けられます。確実に録画を行なうためには、使用する映像レコーダーが正しい端子に接続されていることを確認してください。録画中に他のソースに切り替えようとすると、スクリーン上には 'RECORD' と表示されます。

Record 2回押す → ソースを選ぶ → 映像レコーダーを選ぶ

STOP 2回押すと録画終了

映像レコーダーのチューナーから録画する

映像レコーダーのチューナーに、録画したいチャンネルが設定されている必要があります。録画は、映像レコーダー側でコントロールされます。その映像レコーダーに、入力セクターが正しく設定されていることを確認してください。録画についての詳細は、映像レコーダーに付属のガイドをご覧ください。

映像レコーダーを選ぶ

Record 2回押す

録画スタンバイ/再開が切り替えられる

STOP 2回押すと録画終了

- 2* Beo4 スwitchのオン/オフ** Beo4 では、矢印ボタンの前に GO を押す必要があります。Beo4 を使っている場合、一部の機器は、スイッチをオン/オフするのに GO を押してから 0 を押す必要があります。
- 2 台めのレコーダーに録画する** は、Beo5 で Record2 を押します。録画を終えるには、Record2 を押してから STOP を 2回押します。

注意! 接続した機器に付属するガイドを、必ず参照してください。どの製品が操作できるかについては、Bang & Olufsen 販売店にお問い合わせください。



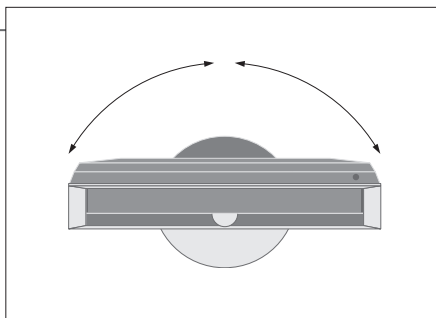
- 32 このテレビのセットアップ
- 34 セットアップを拡張する
- 36 接続した機器のセットアップ
- 38 接続パネル
- 40 このテレビの初期設定
- 42 スピーカーのセットアップ
- 44 追加設定
- 46 オンスクリーンメニュー
- 46 クリーニング

このテレビのセットアップ

以下の説明をよく読んで、このテレビを設置し、必要な接続を行なってください。

このテレビの設置場所

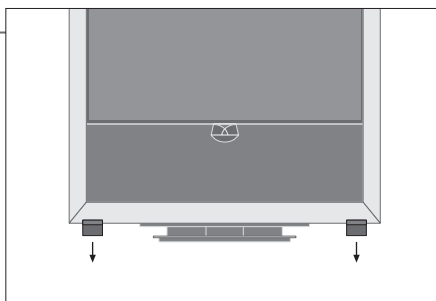
このテレビは、スイッチを入れると同時に、内蔵しているモーターによってプリセットされた位置まで回転していきます。



重量のあるテレビですので、持ちあげたり動かしたりする作業は、必要とされる機材を持った専門のスタッフにお任せください。

保護パーツを外す

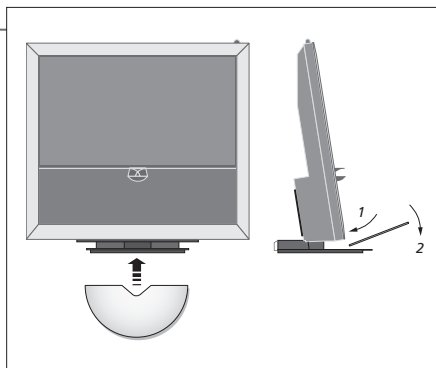
テレビを設置場所に置いたら、フロントフレームの下にある2個の保護パーツを外してください。



各パーツの内側にあるネジを外してください。

底部カバーを取り付ける

カバーの裏には、両面テープがついています。



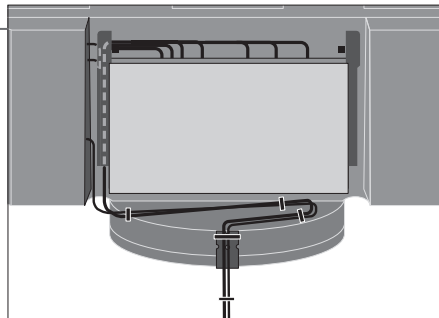
テープを剥がさないままの状態、貼り付け位置の確認を行なったあと、カバーを貼り付けて固定してください。

重要:

通風 適切な通風を確保するために、テレビの両側には最低5cm、上部には最低10cmの空間を設けてください。テレビ裏側の通風口は、絶対にふさがないでください。オーバーヒートすると、スタンバイライトが点滅しスクリーンに警告が表示されるので、テレビのスイッチを切って冷えるのを待ってください。冷却している間、テレビの操作はできません。

ケーブル類を通す

テレビが余裕をもって回転できるよう、ケーブル類は大きな輪のかたちにとまとめ、ケーブルブラケットで固定してください。

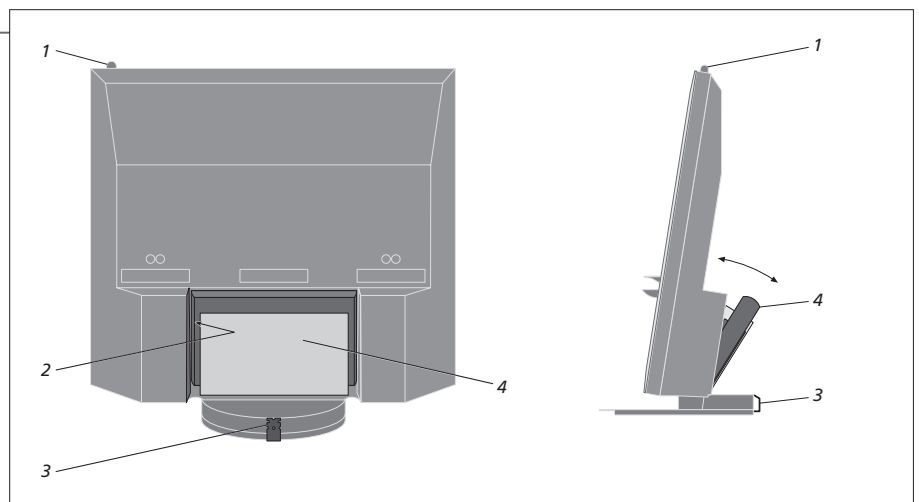


ケーブル長にどれだけ余裕があるか確認するには、まとめたケーブルを最終的に固定する前に、テレビを左端まで静かに手で回してみてください。

背面と側面

接続パネルなど、重要な部分の配置は次の通りです:

- 1 スタンバイライト/リモコン信号受光部
- 2 側面接続パネル(電源コード、テレビ信号用アンテナ入力)
メイン接続パネル(4)を手前に倒すと、この端子にアクセスできます。
- 3 ケーブルブラケット
- 4 内蔵トレイとケーブル用のカバーがついたメイン接続パネル。
カバーを外すには、パネルを手前に傾けます。トレイを開くと、ケーブルを楽に通せるようになります。



注意! ロゴやデジタル写真などの静止画、および4:3フォーマットの映像を、長時間スクリーンに表示させないでください。スクリーン上に、焼け付きとなって残ってしまう場合があります。

セットアップを拡張する

このテレビは、様々な機器に対応しています。プロジェクターに加え、室内の照明やカーテンを操作するホームオートメーションシステムも接続できます。映像レコーダーは、必ず、AV1またはAV2に接続してください。

電源を抜く

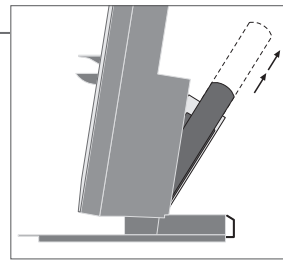
接続をしている間、テレビは電源から抜かれてい
る必要があります。

→ テレビのスイッチを切る

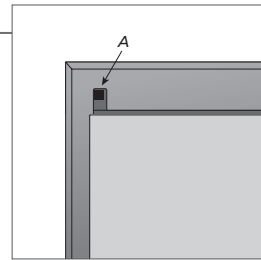
→ テレビを電源から抜く

ケーブルカバーを外す

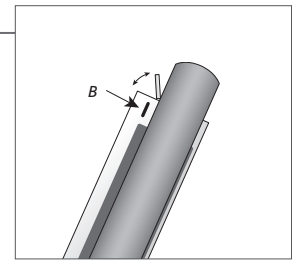
ケーブルカバーを外し、接続パネルにアクセスでき
る状態にします。



メイン接続パネルを手前に傾ける



2個のロック部材 A を開き、カ
バーを取り外す



B を押すと小さなドアが開き、一
時的に接続する機器用の端子に
アクセスできる

他社製の機器を接続する

Bang & Olufsen 製ではない機器を Beo5 で操作す
る場合は、Bang & Olufsen の赤外線発信器を各機
器に振り分けます。36-37ページをご覧ください。

→ その機器に対応するCTRLと記さ
れた端子を選ぶ

→ 接続を行なう

テレビのスイッチを入れる

テレビを電源へ接続する前に、各カバーを必ず元の
位置に戻してください。

→ すべてのカバーを再装着する

→ テレビを電源に接続する

→ テレビのスイッチを入れる

用語などの説明

'AUTO SELECTION' 'TIMER RECORDER'

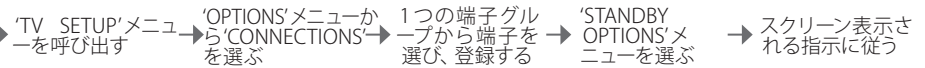
このテレビは、オンになると同時に、信号を検出することで接続された機器を自動的に識別します。接続したレコーダーに、タイマー録音が行なえます。この機能は 'AV1' と 'AV2' メニューにしか表示されず、どちらかのメニューでのみ実行されます。

'HDMI'

HDMI IN 端子に接続した機器のことです。'CONNECTIONS' メニューで 'HDMI EXPANDER' を 'YES' にすると、'AV' メニュー内の 'HDMI-C' オプションが、'HDMI-C1'、'HDMI-C2'、'HDMI-C3'、'HDMI-C4' に置き換えられます。

接続した機器を登録する

このテレビに接続した機器が自動的に認識されない場合は、その機器を登録します。端子グループごとに、右の手順を実行してください。



'CONNECTIONS'メニューの内容		
AV1-AV6		接続した機器を登録する
DISPLAY 2		接続したプロジェクターを登録する
HDMI EXPANDER		HDMI C 端子に接続した HDMI Expander をオンまたはオフにする
LINK		リンクチャンネルを設定し、システムモジュレーターをオンにする

'AV1-AV6'メニューに表示されるソース名		
NONE		何も接続されていない
V.MEM		ビデオまたはハードディスクレコーダー用
DVD/DVD2		DVDプレーヤーまたはレコーダー用
DTV2 (V.AUX)		端末機器などの外部機器用
DTV		端末機器などの外部機器用
V.AUX2		ゲーム機などの外部機器用
TV		外部テレビチューナー用
PC		パソコン用
Centre		最大6種類までのソースを内蔵した機器の接続用 ('AV2'メニューでのみ表示される)

上に挙げたのは登録の一例です。接続した機器は、好きなソース名でも登録できます。追加する機器を、Master Link システムに登録することもできます。

'(VGA)' VGA端子(AV5 または AV6)に接続する機器のことです。
'STANDBY OPTIONS' ソースまたはこのテレビをオフにした時、対応する端末機器のスイッチを同時に切ります。その端末機器を常にオンのまま、あるいはリモコンの指示でのみオン/オフするように設定することもできます。

接続した機器のセットアップ

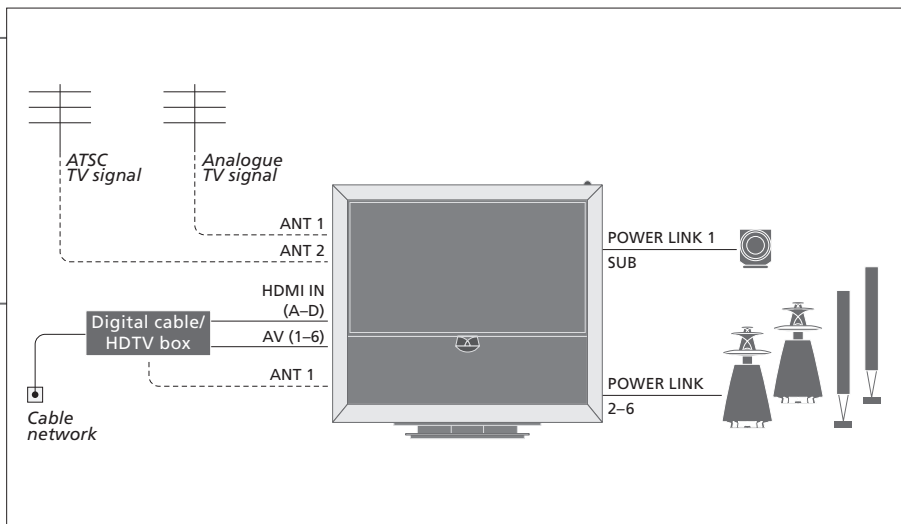
このテレビに、映像ソースとスピーカーを接続してセットアップします。

映像信号

ケーブル、アンテナ、衛星放送などの映像ソースを、右のイラストにある端子に接続していきます。

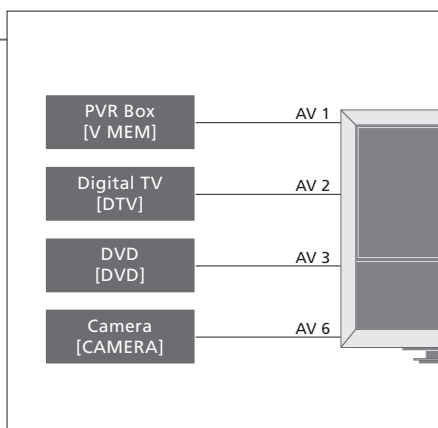
スピーカー

Bang & Olufsen の Power Link 対応スピーカーを使ってください。ケーブルは、スピーカーに付属のものを使用します。もっと長いケーブルが必要な場合は、Bang & Olufsen 販売店から入手できます。



ビジュアル機器の追加

このテレビには、さまざまな種類のビジュアル機器が接続できます。右の接続例には、'CONNECTIONS' メニューで選べるソース名を併記しておきました。



赤外線発信器: Bang & Olufsen 製でない機器を Bang & Olufsen のリモコンで操作するには、各機器に Bang & Olufsen の赤外線発信器を振り分ける必要があります。発信器は、メイン接続パネルにある各機器に対応した CTRL 端子に接続してください。

用語などの説明

HDMI 出力をもった機器 HDMI 出力をもった機器は、どの HDMI 端子にでも接続できますし、どの AV 端子グループにも登録できます。接続した機器のセットアップについては、35 ページをご覧ください。

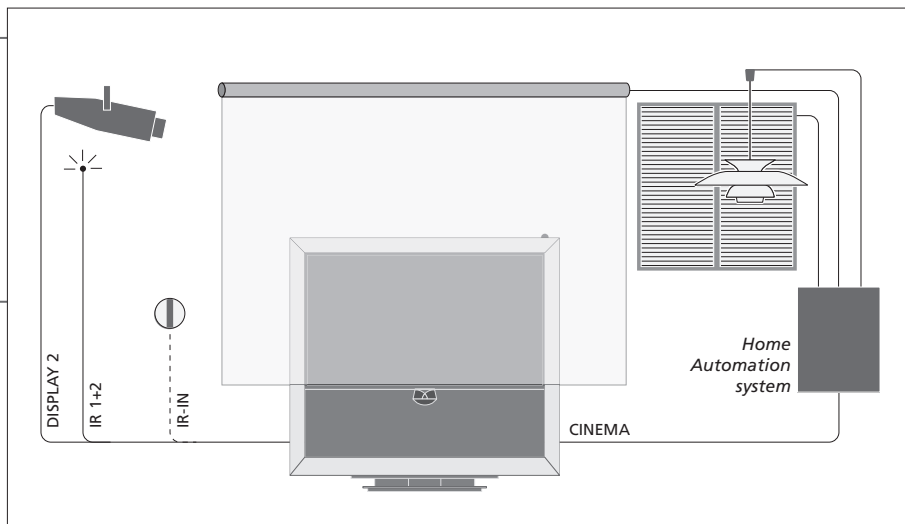
プロジェクターを含むホームシアター、またはホームオートメーションシステムに、セットアップを拡張することができます。

ホームシアターのセットアップ

このテレビにはプロジェクターが接続できますし、ホームオートメーションシステムを接続すれば、照明やカーテンの操作が可能になります。

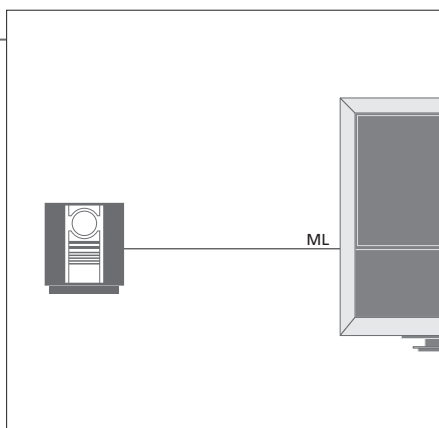
赤外線受光部

リモコン信号を受け取るテレビ側の受光部が、プロジェクタースクリーンを下げることで隠れてしまう場合は、外部に赤外線受光部を追加する必要があります。



オーディオシステム

Bang & Olufsen のオーディオシステムは、このテレビの Master Link 端子に接続します。側面接続パネルの Master Link 端子に接続してください。接続パネルについては 10-11 ページをご覧ください。

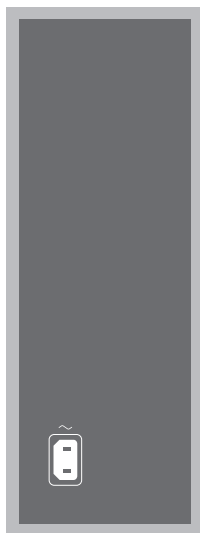
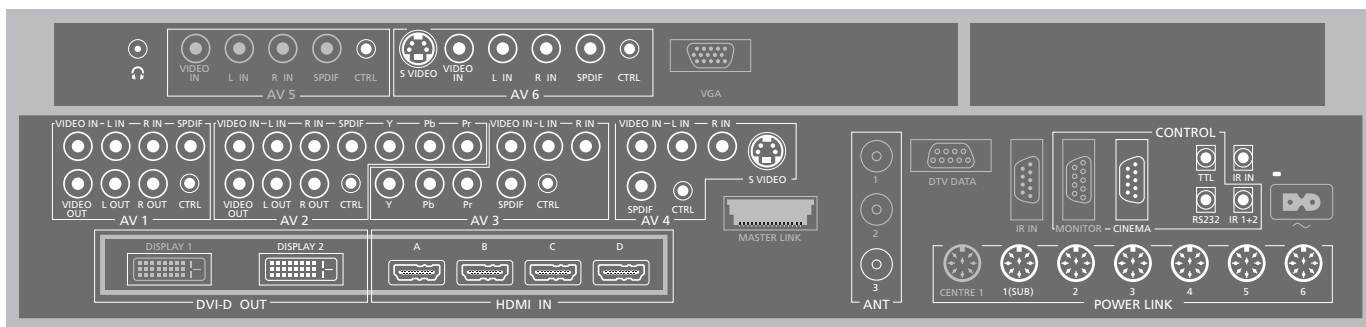


電源コードとプラグ

付属の電源コードとプラグは、このテレビ専用に設計されています。プラグを交換したり電源コードを傷つけると、テレビの性能が損なわれます。コードの片側を、テレビの側面接続パネルの ~ 端子に接続し、プラグを壁のコンセントに接続します。赤外線受光部が赤く点灯し、テレビはすぐに使えるスタンバイ状態になります。

接続パネル

メイン接続パネルに接続した機器は、すべて‘CONNECTIONS’メニューから登録しなければいけません。35ページをご覧ください。



～ 電源
電源コードを接続します。

用語などの説明

HDMI ソース ある HDMI 機器が、HDMI A 端子または HDMI B 端子に接続されており、別の HDMI 機器が HDMI C 端子または HDMI D 端子に接続されている時は、2 種類の HDMI ソースの映像を同時に見ることができます。

メイン接続パネルを描いたイラストの中で、グレーに塗りつぶされている端子は、テレビ内部の接続に使用されています。これらの端子からは、ケーブルを抜かないでください。

📞

ヘッドフォンを接続します。

AV1

主に使用する映像レコーダーや、端末機器をAV接続する端子グループです。各種のビジュアル機器も接続できます。

AV2

外部ビジュアル機器をAV接続する端子グループです。

AV3

外部ビジュアル機器をAV接続する端子グループです。

このテレビは、AV1に接続された映像レコーダーと、AV3に接続された録画可能なビジュアル機器の間の信号経路を、常にオープンに保っています。これによって、タイマー録画を行なう際、AV3に接続された機器のスイッチを自動的にオンにし、AV1に接続されたレコーダーで、AV3からの映像を録画することができます(接続した機器が、この機能に対応している場合)。

AV4

外部ビジュアル機器をAV接続する端子グループです。

AV5

カメラやカムコーダーなど、一時的に接続する機器の接続には、この端子グループを使います。

AV6

カメラやカムコーダーなど、一時的に接続する機器の接続には、この端子グループを使います。

VIDEO IN (AV1-AV6)

映像信号を入力する端子です。

VIDEO OUT (AV1-AV2)

映像レコーダー用の出力端子です。

L-IN, R-IN (AV1-AV6)

左右のサウンドのライン入力端子です。

L-R OUT (AV1-AV2)

左右のサウンドのライン出力端子です。

Y - Pb - Pr (AV2-AV3)

HDTVソースなど、外部機器からのビデオ信号の接続用です。いずれかのAV端子、またはデジタルオーディオ端子と組み合わせて使用できます。

SPDIF (AV1-AV6)

DVDプレーヤーなどからの、デジタル音声信号の入力端子です。

CTRL (AV1-AV6)

AV端子に接続された外部機器用の、リモコン信号端子です。

S VIDEO (AV4, AV6)

S-VHSまたはHi-8カムコーダー用の端子です。

DISPLAY 2 (DVI-D OUT)

プロジェクターを接続する端子です。

HDMI IN (A-D)

High Definition Multimedia Interface をもつ映像ソース、またはパソコンとの接続用です。これらの端子に接続した機器は、どのAV端子グループにも登録することができます。HDMI Expanderを、HDMI-C端子に接続してください。

VGA

ハイビジョン対応の映像ソース、またはパソコンを接続する端子です。

ANT (1-3)

アンテナ入力端子(1)と(2)は、将来の技術に対応するための端子です。(3)には、外部アンテナまたはケーブルTVを接続します。

MASTER LINK

対応しているBang & Olufsen製オーディオシステムを接続します。

DTV DATA

将来の技術に対応するための端子です。

CINEMA

ホームオートメーションシステム用の端子です。

TTL/RS232

ホテル向けのシステムでのみ使用します。

IR IN

テレビをプロジェクターと組み合わせる際に、外部赤外線受光部を接続します。

IR 1+2

ホームシアターのセットアップで、追加する赤外線発信器を接続します。

ヘッドフォン テレビに接続されているスピーカーを消音するには、音量ホイールを左方向へ素早く回します。ヘッドフォンからの音量を調節するには、ゆっくり左右へ回します。もう1度スピーカーから音を出す時は、音量ホイールを左方向へ素早く回してください。

POWER LINK 1 (SUB) 2本のBang & Olufsen製サブウーファーを接続する場合は、ケーブルスプリッターを使ってください。

POWER LINK 2-6 サラウンドサウンドで使うスピーカーを接続します。42-43ページをご覧ください。

注意! 映像レコーダーは、AV1またはAV2端子グループにしか接続できません。他の端子グループは、映像出力をもっていないからです。主に使用する映像レコーダーをAV1に接続し、その他の映像レコーダーはAV2に接続してください。

このテレビの初期設定

このテレビを初めて電源につなぎ、スイッチをオンにすると、初期設定を行なうための画面が表示されます。初期設定した内容は、後日、同じ画面を呼び出すことで変更することができます。

テレビのスイッチを入れる

TV

このテレビは、起動して操作可能となるまで約20秒かかります。 スイッチオン

設定を行なう

<◇>

このテレビを初めてオンにした時だけ、以下の設定用メニューが表示されていきます。^{*1}

項目を選ぶ

GO

承認して次のメニュー項目へ進む

TUNER SETUP

テレビ内蔵チューナーをオフ/オンする。26ページ参照

CONNECTIONS

接続した機器を登録する。35ページ参照

AUTO TUNING

テレビのチャンネルを自動で受信する。22ページ参照。テレビ内蔵チューナーがオンの時にのみ表示される。26ページ参照

用語などの説明

テレビ内蔵チューナー 'CHANNEL SETUP'メニューは、テレビ内蔵チューナーがオンにされている時だけしか表示されません。26ページと46ページをご覧ください。

接続 各端子に接続した機器のタイプ、使われている端子、製品名、ソース名を選びます。

オートチューニング テレビチャンネルを、自動で受信させるためのメニューです。

¹*注意! 初期設定をしている時は、あるメニューで設定を終えたあと、緑色のボタンを押さないと次のメニューへ進めないことがあります。スクリーン表示される指示に従ってください。

初期設定を終えれば、ホームシアターを見る時に使用するスピーカーの設定が可能になります。

スピーカー設定

リスニングポジションに合わせ、各スピーカーからのサウンドを最適化します。

SPEAKER TYPES

SPEAKER ROLES

SPEAKER DISTANCE

SPEAKER LEVEL

初期設定の段階では、テレビを見る時に使用するスピーカーのみが設定できます。初期設定を終えれば、ホームシアターを見る時に使用するスピーカーの設定が可能になります。42-43ページの「スピーカーのセットアップ」、および18ページの「サラウンドサウンドとホームシアター」をご覧ください。

SOUND ADJUSTMENT

デフォルトとする2種のスピーカーの組み合わせに対して、音量、低音と高音のレベル、ラウドネスを調整してプリセットします。スピーカーの組み合わせは、いつでも変更できます。23ページをご覧ください。

スタンドの設定

このテレビのモータースタンドは、この調整と設定を終えないと動作しません。

STAND ADJUSTMENT



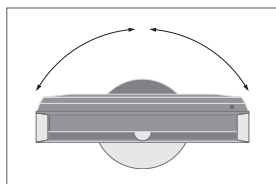
'SET LEFTMOST POSITION' で、テレビが回転して止まる左端の位置を決める



'SET RIGHTMOST POSITION' で、テレビが回転して止まる右端の位置を決める



承認する



STAND POSITIONS

スイッチをオン/オフした時に、このテレビが回転して停止する位置を決めます。44ページをご覧ください。

スタンド調整 テレビが回転して停止する端の位置を、右方向と左方向のそれぞれに設定します。注意! スタンドの設定を終えれば、このスタンドのモーターは動くようになります。

スピーカー設定

このテレビに、Power Link スピーカーと最大2台までのBeoLab サブウーファーを接続すると、サラウンドサウンドシステムが楽しめます。

スピーカー設定を始める

TVモードとシネマモード、どちらかの状態でテレビをオンにして、そのモードでのスピーカー設定を始めます。

テレビをオンにして'TVSETUP'メニューを呼び出す → 'OPTIONS'メニューから'SOUND'を選ぶ → メニューを選ぶ

スピーカータイプの設定

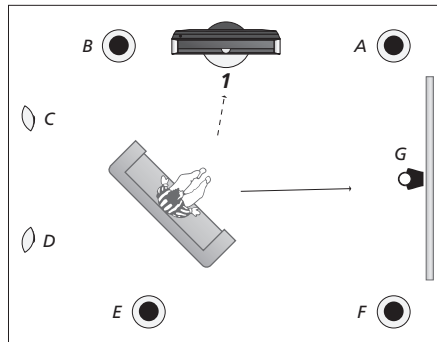
このメニューで、各スピーカーのタイプ名を登録します。各 Bang & Olufsen スピーカーが短く音を出し、スクリーン上で強調表示されます。

'SPEAKER TYPES'メニューを選ぶ → スピーカーを選び、スピーカータイプ名を表示させる → GO 承認する

各スピーカーの役割を設定する

接続された各スピーカーに、フロント、リア、サラウンドなど、どの役割を与えるか決めていきます。1本のスピーカーに、テレビを見る時とホームシアターを見る時で、別々の役割が与えられます。

'SPEAKER ROLES'メニューを選ぶ → スピーカーを選び、役割名を表示させる → GO 承認する



各スピーカーの役割を設定する

テレビを見る(1)	ホームシアターを見る(2)
A: フロント右 (Right front)	フロント左 (Left front)
B: フロント左 (Left front)	サラウンド左 (Left back)
C: オフ	リア左 (Left back)
D: オフ	リア右 (Right back)
E: リア左 (Left back)	サラウンド右 (Right surround)
F: リア右 (Right back)	フロント右 (Right front)
G: オフ	センター (Centre)

用語などの説明

設定中のサウンド 設定を行なっている時、いずれかのスピーカーが音を出すことがあります。音を出したスピーカーが、強調表示されているスピーカーと一致しているか確認してください。

注意! ホームシアター用の設定をするには、まずテレビをホームシアターモードにしなければいけません。18ページをご覧ください。

各スピーカーの役割 リア用のスピーカーは、サラウンド用のスピーカーを選択したあと選ばなければいけません。

テレビを見る時とホームシアターを楽しむ時で、視聴位置が違っている場合は、それぞれの視聴位置に対し別々のスピーカー設定を行なう必要があります。

スピーカー距離の設定

視聴位置から各スピーカーまでのおおよその直線距離を、メートル単位で設定します。

→ 'SPEAKER DISTANCE' メニューを選ぶ → スピーカーを選び、距離を選ぶ

→ GO 承認する

サウンドレベルの設定

1本1本のスピーカーから、調整用のサウンドが順に発せられます。センタースピーカーの音量とバランスがとれるよう、微調整してください。

→ 'SPEAKER LEVEL' メニューを選ぶ → 'SEQUENCE' から、'AUTOMATIC' または 'MANUAL' を選ぶ

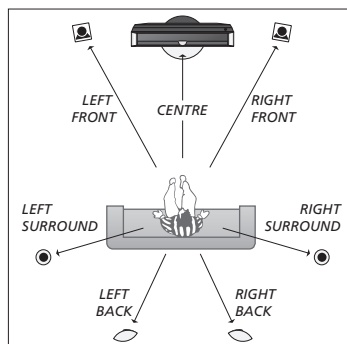
→ 'MANUAL' を選んだ場合は、スピーカーを選んで音量を調整する

→ GO 承認する

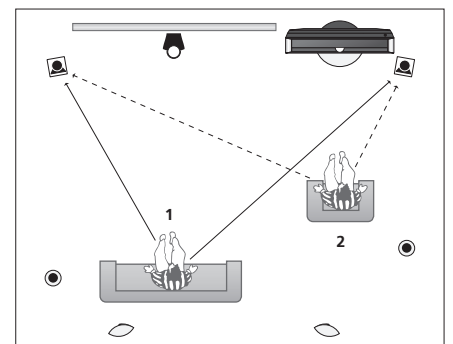
使用中のサウンドシステムを確認する

スクリーン上の映像に、どのサウンドシステムが適用されているか確認できます。

→ 'TV SETUP' メニューを呼び出す → 'OPTIONS' メニューから 'SOUND' を選ぶ → 'SOUND SYSTEM' メニューを選ぶ



スピーカーの距離を設定。



2つの異なった視聴位置に対し、それぞれサウンドレベルを調整。

サウンドレベル 最適なサラウンドサウンドを得るために、センタースピーカーの音量とバランスを取りながら各スピーカーを調整します。

注意! いったんスピーカー設定を終えたら、そのセットアップを変更しない限り、改めて調整作業を行なう必要はありません。

追加設定

テレビが回転して停止する位置、正しい時刻、ハードディスクレコーダーを使用する際の機能の選択などを、追加として設定していくことができます。

テレビの停止ポジション

テレビを見る時、音楽を聴く時、テレビをオフにした時のそれぞれで、テレビが停止するポジションを設定します。41ページのスタンドの初期設定をご覧ください。

→ 'TV SETUP'メニューを呼び出し'STAND POSITIONS'メニューを選ぶ

→ 'VIDEO'か'AUDIO'、または'STANDBY'を選ぶ

→ テレビをお好きな位置まで動かす

GO

→ 承認する*

時刻と日付

時刻と日付を設定します。Beo5でClockを押し、ディスプレイにクロックを呼び出します。クロック表示は10秒たつと消えます。

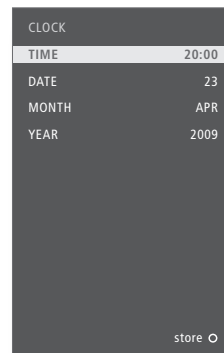
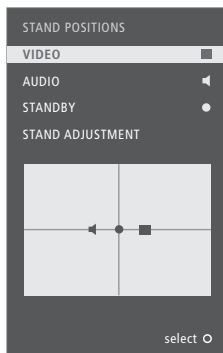
→ 'TV SETUP'メニューを呼び出し'OPTIONS'メニューを選ぶ

→ 'CLOCK'メニューを選ぶ

→ 時刻と日付を設定する

GO

→ 承認する



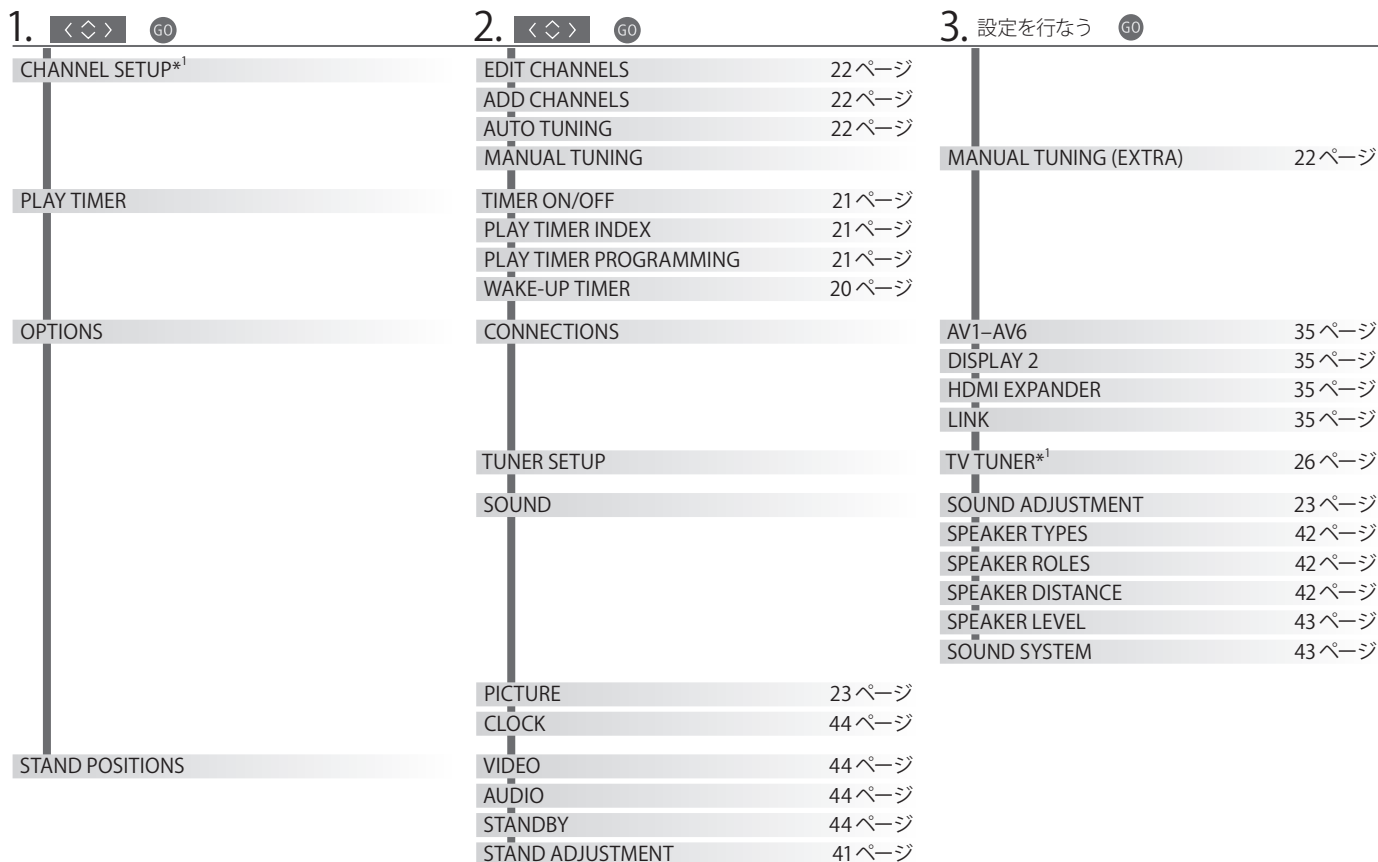
用語などの説明

1* 初期設定 テレビ停止位置までの設定を終えたあと、なお初期設定の作業を続けたい場合は、緑色のボタンを押すと続行できます。



オンスクリーンメニュー

一般的な設定: Zone、TV、Menu を選びます。



クリーニング

テレビのお手入れ
スクリーン

キャビネットと操作系

アルコール類厳禁

クリーニングなどの日常のお手入れは、お客様ご自身にお願いしております。
ホコリなどは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。液体クリーナーやスプレー式クリーナーは、使わないでください。
柔らかく乾いた布で、ホコリを払ってください。油污れやしつこい汚れなどは、台所用等のマイルドな洗剤を薄く溶いた水と、柔らかい布を使い拭き取ってください。
このテレビのクリーニングに、アルコール等の溶剤は絶対に使わないでください。

¹* 注意! 'CHANNEL SETUP'メニューが表示されるのは、'TUNER SETUP'メニューでテレビ内蔵チューナーがオンになっている時だけです。

Manufactured under license from Dolby Laboratories. Dolby, Pro Logic, and the double-D symbol are registered trademarks of Dolby Laboratories.
Confidential unpublished works.
Copyright 1992–2003 Dolby Laboratories.
All rights reserved.

Manufactured under license under U.S. Patent #'s: 5,451,942; 5,956,674; 5,974,380; 5,978,762; 6,487,535; 7,003,467; 7,212,872 & other U.S. and worldwide patents issued & pending.
DTS, DTS Digital Surround, ES, and Neo:6 are registered trademarks and the DTS logos, and Symbol are trademarks of DTS, Inc.
© 1996-2008 DTS, Inc.
All Rights Reserved.

This product incorporates copyright protection technology that is protected by U.S. patents and other intellectual property rights. Use of this copyright protection technology must be authorized by Macrovision, and is intended for home and other limited viewing uses only unless otherwise authorized by Macrovision. Reverse engineering or disassembly is prohibited.

HDMI, the HDMI logo and High-Definition Multimedia Interface are trademarks or registered trademarks of HDMI Licensing LLC.

アメリカ向け特記事項

注意：本製品は、連邦通信委員会規定第15項に従って検査され、クラスBデジタル装置の制限に適合することが証明されています。この制限は、一般家庭で使う場合に起こり得る有害な干渉に対し、適正な防護措置を講じるためものです。

本製品は、無線周波エネルギーを発生、使用、放射することがあり、指示通りの設置や使用が行なわれないと、無線通信に有害な干渉を行なう恐れがあります。ただし、このような干渉が発生しない条件を、特定することはできません。もし、本製品がラジオやテレビの受信に干渉するようであれば、本製品の電源をオン/オフすることで干渉源が本製品であることを再確認したうえ、以下の方法を用いて干渉を除去してください。

- 受信用アンテナの向き、または設置場所を変える。
- 受信装置から本製品を遠ざける。
- 受信装置とは別の電気回路にあるコンセントに、本製品を差し込む。
- 販売店または経験を積んだラジオ/テレビ技術者に相談する。

カナダ向け特記事項

このクラスBデジタル装置は、カナダの妨害発生源機器規則のすべての要件に適合しています。

